

No.301  
1996年  
8月

# OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階  
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352

## ●日本オペレーションズ・リサーチ学会 事例研究奨励賞（ソフトウェア部門） 第12回候補ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られています。これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望がしばしば寄せられております。

学会では、このような情勢をふまえ、1985年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。つきましては、今年度も下記の要領で、広く学会員から募集することになりましたので、奮ってご応募ください。なお、本賞を、事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは、過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行った実績も参考として決定したものであります。

### 〈募集要領〉

1. 賞の名称：日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞（ソフトウェア部門）
2. 選考の対象：ORの教育・実務において広くOR学会員に役立つもので、次のような対象を想定しております。
  - (1)教育用ソフトウェア  
大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用のソフトウェア
  - (2)OR技術の先端的ソフトウェア
3. 応募資格：本学会の会員（個人に限らずグループや企業も対象となります）
4. 応募手続：

### (1)提出書類

- ①正会員による推薦状 1部

推薦状は学会所定の用紙とします。

- ②ソフトウェア機能説明書（A4判3枚以内）5部  
機能説明書は学会所定の用紙とします。

- ③その他参考資料

Input/Outputの例、解説書等の参考資料があれば、

各1部添付してください。ただし、提出の義務はありません。

(2)提出先：日本OR学会表彰委員会

(3)応募締切：平成8年11月29日（金） 必着

5. 表彰：受賞者には、OR学会総会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約をOR誌に掲載して表彰する。

6. その他：(1)応募するソフトウェアは、広くOR学会員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員からの利用の要請を受けたときは、その便に応じることとさせていただきます。ただし、学会は、利用について仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で直接話し合ってください。

(2)受賞にもれたソフトウェアについても、適当なものについては、主な機能等の紹介をOR誌に行うこととします。

(3)応募者は、きたる11月7日、8日に大阪工業大学にて開催される本学会秋季研究発表会のペーパーフェアまたはソフトウェアショーにおいてあらかじめ発表されますようおすすめします。

## ●第36回シンポジウム

日時：11月6日（水） 13：00～17：00

場所：大阪工大摂南大学創立60周年記念館  
（大阪市旭区大宮5-16-1）

テーマ：「変革期の経営環境と意思決定」

実行委員長：山根敬三（摂南大学）

講師：①宇野 取（前 関西経済連合会会長、東洋紡績(株)相談役）

②松島悠佐（前 陸上自衛隊中部方面総監、ダイキン工業(株)顧問）

③瀬尾美巳子（摂南大学経営情報学部教授、京都大学名誉教授）

## ●平成8年度秋季研究発表会

日程：11月7日（木）～8日（金） 研究発表会

11月5日（火） 見学会 13：30～17：00

松下電工(株)と松下電器産業(株)技術館）

場所：大阪工大摂南大学創立60周年記念館  
（大阪市旭区大宮5-16-1）

実行委員長：栗山仙之助（摂南大学）

解析センター）

特別テーマ：「変革のOR」

「BDD論理関数処理パッケージと計算幾何」

谷 誠一郎（NTT LSI研）

●平成9年度春季研究発表会

日 程：平成9年4月2日(水)～3日(木)研究発表会  
4月4日(金) 見学会

「データマイニングに現れる最適化と計算幾何学」

徳山 豪, 福田剛志, 森本康彦, 森下真一

(日本IBM東京基礎研究所)

場 所：九州大学文系講義棟

セッション2「数理計画の応用」

(福岡市東区箱崎6-10-1)

オーガナイザー：鈴木久敏（筑波大学）

実行委員長：松山久義（九州大学）

「The Application of Operations Research in Rural Economy Regionalization in China」

WANG Changyu (曲阜師範大学),

ZHAO Qingzhen (山東師範大学)

●第8回RAMPシンポジウム

日 時：9月19日(木), 20日(金)

「非線形計画法の人事問題でのグループAHP法への適用」

八巻直一（システム計画研究所）,

山田善靖, 杉山 学（東京理科大学）

場 所：東京大学 山上会館

(〒113 文京区本郷7-3-1 Tel.03(3818)3008)

山上会館は、三四郎池と御殿下グラウンドの間（正門から見て、安田講堂・時計台の右手の小さい丘の上）にある2階建の建物です。営団地下鉄線の最寄駅は、千代田線「根津」、丸ノ内線「本郷三丁目」、南北線「東大前」です。

主 催：数理計画法特設研究部会（RAMP）

参加要領：当日、会場受付にて下記参加費を添えてお申し込み下さい。

シンポジウム（論文集含む）：一般 5,000円, 学生 2,000円

懇親会（19日夕方）：5,000円

銀行振込をご希望の方は、下記に8月30日(金)までにご送金ください。第一勧業銀行本郷支店(店番号：075)、普通口座(口座番号：1968132)「第8回RAMPシンポジウム会計松井知己」

宿 泊：宿泊先は、各自でご手配願います。

問合せ先：第8回RAMPシンポジウム実行委員会

〒113 文京区本郷7-3-1東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻

Tel.03(3812)2111 (交換台)

委員長：伏見正則（内線6920, e-mail: fushimi@misojiro.t.u-tokyo.ac.jp, Fax.03(5800)6805)

または、松井知己（内線6921, e-mail: tomomi@misojiro.t.u-tokyo.ac.jp)

プログラム：

9月19日(木)

セッション1「計算幾何学」

オーガナイザー：今井 浩（東京大学）

「ゲノム情報処理と計算幾何学」

阿久津達也（東大医科学研究所ヒトゲノム

9月20日(金)

セッション3「数理計画一般」

オーガナイザー：加藤直樹（神戸商科大学）

「劣モジュラ流に関する最近の算法」

岩田 覚（京都大学数理解析研究所）

「メタ戦略のロバスト性について」

柳浦睦憲（京都大学）

「Semidefinite Programming：理論編」

信太正之（神奈川大学）

「組合せ最適化問題に対する近似解法：SDPメタ解法を中心として」

藤沢克樹（東京工業大学）

セッション4「ファイナンス」

オーガナイザー：岸本一男（筑波大学）

「解題：数理ファイナンス—確率過程と時系列の立場から」

岸本一男（筑波大学）

「金融時系列における長期従属性」

矢島美寛（東京大学）

「デリバティブの価格と裁定」

楠岡成雄（東京大学）

「Low-discrepancy sequencesとそのファイナンスへの応用」

手塚 集（日本IBM東京基礎研究所）

## ●平成8年度OR企業サロン

〈情報化と戦略的事業展開〉(東京)

日 程：10月9日(水) 18:00~20:50

場 所：学士会本館(神田)(神田錦町3-28)

Tel.03(3292)5931

テーマ：顧客ニーズに応える物流・情報ネットワーク革新

ゲストスピーカー：

(株)菱食 代表取締役社長 廣田 正氏

参加資格者：賛助会員(参加費：無料)

※なお、正会員・学生会員でも若干名の参加枠(無料)がありますので、ご希望の方はOR学会事務局までお申し込みください。

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

## ●国際会議案内

・Third ISSAT International Conference on Reliability and Quality in Design

日 程：1997年3月12日(水)~14日(金)

会 場：米国カリフォルニア州アナハイム

主 催：ISSAT(International Society of Science and Applied Technologies)

論文提出締切：1996年9月15日(日)

問合せ先：鳥取大学工学部社会開発システム工学科

山田 茂 Tel.0857(31)5303 Fax.0857(31)0882

E-mail:yamada@sse.tottori-u.ac.jp

・The 15th International Teletraffic Congress (ITC15)

日 程：1997年6月23日(月)~27日(金)

場 所：米国ワシントンD.C.

論文提出締切：1996年9月15日(日)

採否の通知期限：1997年1月6日(月)

問合せ先：NTT通信網研究所 川島幸之助

Tel.0422(59)4430 Fax.0422(59)3290

E-mail:shima@hashi.tnl.ntt.jp, ITCのWWW

ホームページhttp://www.itc-iac.org/

・11th IFAC Symposium on System Identification

日 程：1997年7月8日~11日

場 所：北九州市

論文提出締切：1996年10月1日

問合せ先：OR学会事務局

## ●公募案内

・近畿大学工学部経営工学科

募集人員：助教授または講師1名

専門分野：下記のいずれか(工学部経営工学科での担当となります)

(1) 経営管理(国際戦略等について興味のある方が望ましい)

(2) 経済性工学関連科目

応募資格：博士の学位を有す者、またはこれに準ずる業績を有す者で、20代後半から39歳以下の者

採用予定：平成9年4月1日

応募締切：平成8年9月15日

提出書類：履歴書、研究業績リスト、論文別刷(複写可)他

問合せ・送付先：〒737-01 呉市広古新開5-1-3

近畿大学工学部経営工学科

学科長 畝 正二 Tel.0823(71)9171 内 274

・神奈川大学工学部経営工学科

募集人員：教授または助教授1名

専門分野：制御工学、情報システム工学、設計工学などに関する研究業績がある者

応募資格：40歳前後で博士の学位を有する者

採用予定：平成9年4月1日

応募締切：平成8年9月末日

提出書類：履歴書(写真貼付)、研究業績目録、主要論文別刷(コピー可)他

選考方法：(1)書類審査

(2)必要な場合は面談の機会を設ける

採用通知：平成8年11月末日

問合せ・書類提出先：

〒221 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学工学部経営工学科

主任教授 上野 俊夫

Tel.045(481)5661 内 3254

## ●他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・経営情報学会シンポジウム(協賛)

テーマ：情報型組織のためのシステム方法論

日 時：9月25日(水) 10:00~18:30

場 所：東京工業大学 大岡山キャンパス

問合せ先：経営情報学会事務局 Tel.03(3591)8496

学会事務局夏期休暇のお知らせ

8月5日(月)～9日(金)

●平成8年度会費納入のお願い(事務局)

平成8年度およびそれ以前の会費を未納の方は至急お支払いくださるようお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成8年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

●会員名簿刊行のお知らせ (事務局)

1995年版の会員名簿(会員限定)が発刊されました。E-mail addressも登録され、3年ぶりの改定版です。まだ、残部がありますので購入ご希望の会員の方には、1冊4,000円でおわけいたします。FAXもしくはハガキでお申込みください。(消費税は非課税です)

氏名・会員番号・代金支払方法(振込でお願いいたしますが、請求書等必要の有無など)をご記入ください。

CALL FOR PAPERS  
Special Issue of OMEGA

(International Journal of Management Science)

Performance measurement in the Asia-Pacific countries



今日のアジア太平洋地域の経済発展は、非常にめざましいものがあり、この地域の経済上の成功に対する経営科学の貢献には、大きな関心があります。このたび、雑誌OMEGAでは、特集を企画し、アジア太平洋諸国における、これらの経営科学的視点の役割と有効性について、特に着目することに致しました。焦点を絞るために、今回の特集では、特にDEA(Data Envelopment Analysis) およびその関連研究などの、パフォーマンス評価手法を集中的に取り上げます。ただし、このDEA手法に限定されることなく、広い意味の評価に対する経営科学の応用を考えています。アジア太平洋地域で現在進められているさまざまな開発に対する1つの展望を与えるような、できる限り幅広い分

野の経営評価に関する取り組みについての論文投稿を期待します。複数の評価手法の統合し、それを本質的に興味深い領域に対して適用した論文などは、特に歓迎いたします。

今回の特集号のGuest Editorは、W. W. Cooper(テキサス大)、刀根 薫(埼玉大)、そして末吉 俊幸(東京理科大)です。論文は、上記3名のいずれか宛てに、12月31日までに投稿してください。論文は、雑誌OMEGAのそれぞれの号にある「執筆要綱」の標準的なガイドラインに従って準備してください。投稿された論文は、OMEGAの審査基準によってレビューされます。なお、本特集号は、1997年の中ごろに発行される予定です。